

導水路建設をめぐる情勢と 「市民学習会」の活動報告

「長良川に徳山ダムの水は要らない」緊急市民学習会

2008.6/3

ハートフルスクエアG 大研修室にて

長良川市民学習会事務局長 武藤 仁

今後23年間で592億円の返済

毎日

(第3種郵便物認可)

徳山ダム

「利水面、大きな課題」

知事、利用者開拓急ぐ意向

本格運用が近づく揖斐川町の徳山ダムについて、古田肇知事は22日の記者会見で「利水面では大きな効果が期待できるが、利水面が

大きな課題だ」と述べ、市町村と協力しながら、水の利用者の開拓を急ぐ意向を示した。県は今年度予算で、徳山ダムの事業費償還



「利水面が大きな課題」と話す古田知事

金の一部である23億円を計上しており、今後23年間で592億円という巨額の償還金を分割払いする。償還金は水の利用料を充てる予定だが、利水のみではまったく立っていない。このため、古田知事は「償還は大きな財政負担だ」と話した。また古田知事は、愛知県や名古屋市の徳山ダムの水を利用するために必要となる導水路の建設計画についても

触れ、「環境への配慮を重視して、国土交通省の導水路建設討会での議論をもとに、県として環境に言っべきことを言っていきたい」と話した。徳山ダムは総貯水量6億6000万立方メートルのうち、利水容量が7億立方メートル。ダム建設費約3500億円のうち、利水事業には約8億円を費やしている。稲垣衆史

「放流理由の説明を」

徳山ダム 導水路計画 市民団体が要請書

市民団体「『長良川に徳山ダムの水は要らない』市民学習会実行委員会」（粕谷志郎代表）は22日、徳山ダム（揖斐川町）の水の一部を長良川経由で木曾川に送る導水路建設計画について、長良川に放流する理由や意義を分かりやすく説明することなどを求める要請

書を、岐阜市忠節町の中部地方整備局木曾川上流河川事務所に提出した。実行委はこれまで、岐阜市と県に対して、把握している情報の開示などを要請してきた。実行委メンバーらは「94年の異常渇水時でも、長良川に大きな影響があったとのデー

タはない。長良川に徳山ダムの水を流さなければならぬ理由が分からない」と訴えた。中部地整は24日午後2時から、岐阜市橋本町のじゅうろくプラザで、導水路建設による環境への影響を検討す

る。市民団体の「環境一般開は初めてとなる。鈴木敬一」

利水のメドは
まったく立っていない！

岐阜県 工水1.4m³/秒、上水1.6m³/秒

【 悲劇を重ねた徳山ダムから導水路へ 】

1973(昭48) 木曾川水系水資源総合開発計画変更の中で
徳山ダム建設決定

1988(平1) 域外移転466世帯すべてについて移転契約完了

1995(平7) 徳山ダム建設事業審議委員会設置

1996(平8) 名古屋市3m³/秒の水利権返上

2000(平12) ダム本体着工

2003(平15) 水資源開発公団建設費増額発表

2004(平16) 2県1市一斉に部分撤退表明
徳山ダムに係る導水路検討会設置

2007(平19) 導水路「上流分割案」で3県1市合意

2008(平20)試験放流開始

「利水面、大きな課題」

知事、利用者開拓急ぐ意向



音を耳に川線日、水質
川に送る導水路建設計
画について、長良川に
放流する理由や意義を
分かりやすく説明する
ことなどを求める要請

ある23億円 触れ、「...の影響
しており、今後
0.92億円と
償還金を分
。償還金は
を充てる予
水のめどは
立っていない
ため、古田知
は大きな財
と話した。
知事は、愛
屋市が徳山
利用するた
なる導水路
について
長良川に徳
を流さなけ
い理由が分
と訴えた。
は24日午後
岐阜市橋本
ろくプラザ
建設による
響を検討す

- 1 長良川に放流する理由を説明せよ。
- 2 平成18・19年度に行った調査結果を明らかにせよ。
- 3 一般市民に開かれた事業説明会を開催せよ。
- 4 市民との対話の場を保障せよ。

「環境
岐阜」
岐阜市橋本
ろくプラザ
建設による
響を検討す

08 4/23 毎日

②検討区域

導水路(上流施設)検討区域

揖斐川西平ダム付近から木曾川坂祝地区に導水することを基本とする。



建通新聞のネットワークから、毎日最新の建設ニュースをお届けいたします。
建設業界の最新の動向にご注目ください。

◀ b:

■【愛知】木曾川水系連絡導水路、建設着手へ基本方針(5/16)

■ 「徳山ダムに係わる導水路検討会」(中部地方整備局、3県1市で構成)が日に開かれ、「木曾川水系連絡導水路事業」の建設着手に向けた基本方針がされたほか、2006年度に実施計画調査として地質調査や予備設計などを中部地方整備局が実施することが報告された。基本方針では、実施計画調査について流ルート案を最有力と考えて実施することとし、具体的なルートはさまざまな選の中からコスト削減の観点も踏まえて検討を進めるとした。また、導水規模など水路の「基本諸元」は検討会で調整を進め、木曾川水系河川整備計画への位置づけを目指すとした。

木曾川水系連絡導水路事業については、06年度に新規実施計画調査に採択れ、6億2000万円が予算化された。国土交通省中部地方整備局では06年度、設設計(予備設計)と環境影響検討を実施する計画。

導水路のルート選定や事業費は、呑口と吐口がどこになるかが大きなポイントなる。また、管瀬川横過部は沈砂池の設置を予定しており、施設計画の中でウ、トが大きい。横断過部では、鳥羽川右岸から長良川左岸の区間延長が最長で、坑長も最長になると想定されているほか、山岳部では、長良川左岸から木曾川岸の区間延長が最長でトンネル掘削工法としてNATM工法か、TBM工法か、選定の見極めが必要になるという。

このため中部地方整備局では06年度、呑口、吐口、管瀬川横過部以西、鳥羽横過部以東の区間について、地質調査、地質総合解析、予備設計を行う方針。地でボーリング調査や土質試験、弾性波探査などを実施する。

一方、環境影響検討としては、動植物調査、水文調査、水質シミュレーション構築を実施予定。動植物調査は、呑口、吐口、立坑など構造物周辺区域と地水位の影響が予想される区域で行う。

また、12日の検討会では導水路事業の新規実施計画調査採択を受けて規約改正。導水路計画策定に向けて3県1市と調整し、1つひとつ具体化していく必要あり、合意形成を伴う事項が多いことから、従来、課長級で構成していた検討会員を部長級に格上げし、合意形成の場に位置づけた。課長級の会議は幹事会し、情報交換、具体化に向けた検討の場とする。

木曾川水系連絡導水路は、徳山ダムで貯留した水を有効に活用するため、揖川から木曾川へ導水路で水を運ぶもので、上流案のルートは延長約50*。河川

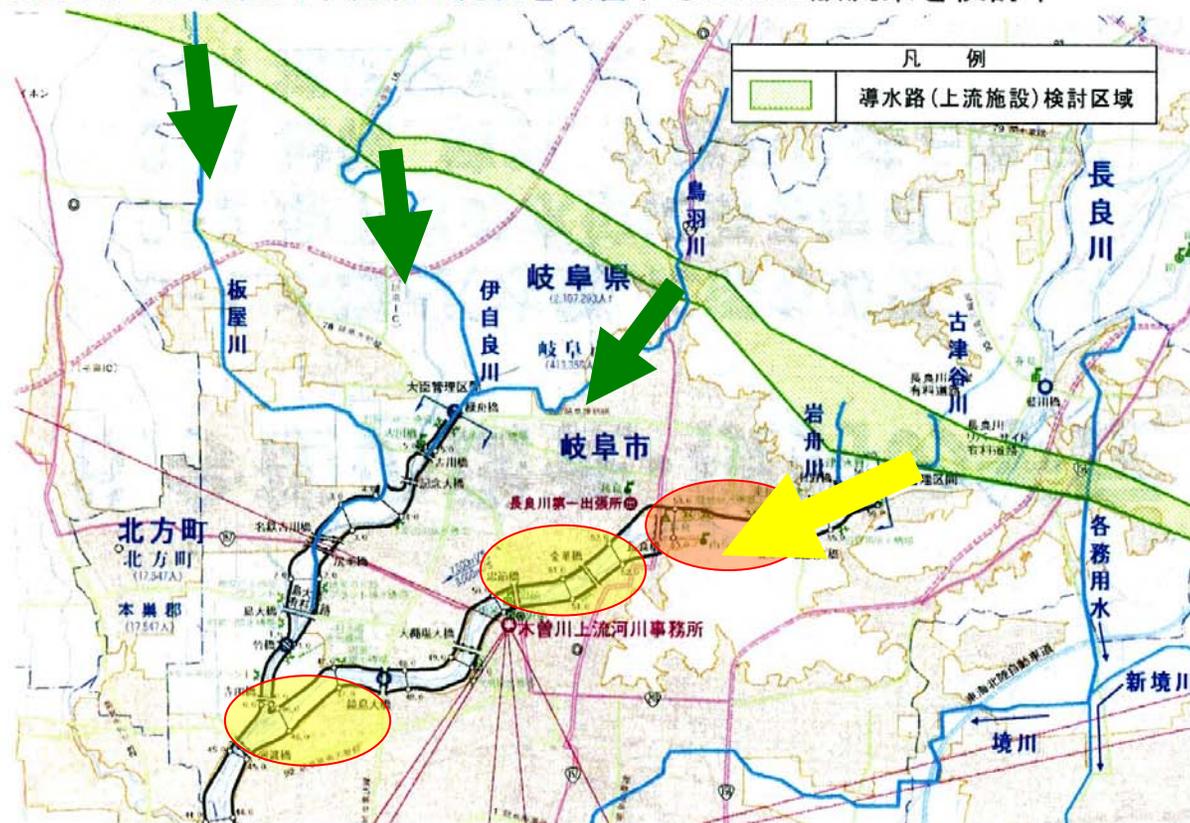
5-3. 長良川への放流の検討

1. 都市用水 $0.7\text{m}^3/\text{s}$ の通常時の放流先

- ・通常時の都市用水 $0.7\text{m}^3/\text{s}$ については、長良川の支川へ放流する案等を検討中

2. 異常渇水時の環境 $4.0\text{m}^3/\text{s}$ +都市用水 $0.7\text{m}^3/\text{s}$ の放流先

- ・異常渇水時は長良川中流域の流況を改善するための放流案を検討中





徳山ダムの水を木曾川に引く木曾川水系連絡導水路事業について、上流ルートに加え、下流ルートを併設する上流分割案を採用することで合意した国と3県1市の関係者ら＝22日、名古屋市市内



徳山ダム導水路分割案採用

長良川濁水時の環境改善

県、効果を踏まえ同意

徳山ダム導水路事業（岐阜県も、長良川中流域の国土交通省中部地方整備局と東海三県一市は、え、上流分割案に同意し、二十二日、「上流分割案」を採用することを確認した。導水路事業について、田原知事は「濁水対策上、導水路事業について、必要の意義▽コストと関係県市との費用負担▽河川環境

河口堰利水、課題

愛知県 一体的利用の意思

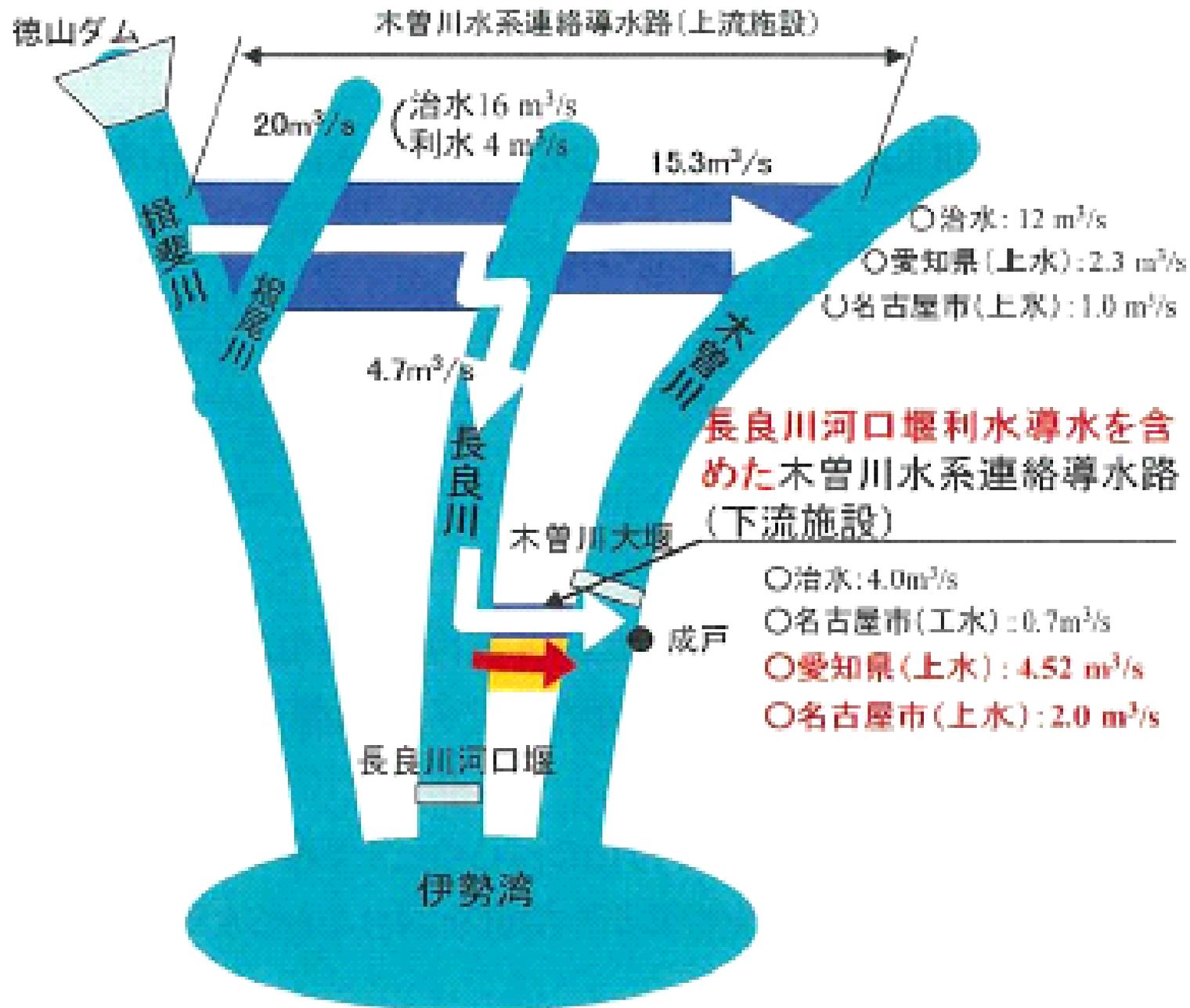
徳山ダム導水路の上流（二五ノのうち、現在は一分割案には、長良川河口部を知多半島に水道水と堰（せき）の利用も一体的に進めたいとする愛知県と名古屋市の思惑が、名古屋市の二ノ分も使われ、今後、導水路の下流ルートを使った長良川河口堰の水利が検討課題として浮上してきそうだ。愛知県は、長良川河口利水取水と兼用した導水路とすることを強く要望

「する」とする要請書を提出。下流ルートの上流地点での取水を希望している。中部地方整備局の細見寛河川部長は「徳山ダム導水路と河口堰の水利は別問題だし、河口堰水利を放っておいたらいいものでない。木曾川水系への影響については、瀬直美国土整備部長は「想定範囲内」としながらも「さらなるコスト削減に向けて調整を図りたい」としている。同日の導水路検討会では、事業主体は独立行政法人水資源機構に承継する方針を確認。来年度から建設に着手する見通しになったが、「徳山ダム建設中止を求める会」（上田武夫代表）は「無駄の上に無駄を重ねる公共事業」とする抗議声明を発表した。上流分割案について「長良川中流域の環境改善のための導水路と位置づけ」ことで、巨額負担を岐阜県民に押し

水 の 一 は ない
要 た の は ない
平成 年 水 を る 「 る
か ない 」 水
環境 は

への影響を重視する理由とし「想定範囲内」としながらも「さらなるコスト削減に向けて調整を図りたい」としている。同日の導水路検討会では、事業主体は独立行政法人水資源機構に承継する方針を確認。来年度から建設に着手する見通しになったが、「徳山ダム建設中止を求める会」（上田武夫代表）は「無駄の上に無駄を重ねる公共事業」とする抗議声明を発表した。上流分割案について「長良川中流域の環境改善のための導水路と位置づけ」ことで、巨額負担を岐阜県民に押し

議事録は存在しない？





木曽川
工
事業費

残しましよ。う。

市民の宝・清流長良川をいつまでも

子供たちに、借金に残さない

水路計画
7)
2.7億円)